

『長谷エグループCSR報告書2018』発行にあたって

長谷エコーポレーションでは2007年より『環境・社会報告書』を発行してきました。

この間、地球環境の危機的な状況や、複雑化する社会課題など、

私たちの事業を取り巻く環境は厳しさを増し続けてきました。

また、2015年には「持続可能な開発目標(SDGs)」や「パリ協定」が採択され、

世界の課題に対して企業も責任を果たしていくことが明文化されました。

そうした状況の中で、長谷エグループは2017年に、組織的にCSRに取り組むことを決め、

社内体制を整え、グループ社員による議論を重ねて「CSRビジョン」「CSR方針」を策定しました。

これからは、社員一人ひとりがCSRについて考え、業務を通じて自発的に行動できるようになることを目指していきます。

長谷エグループのCSRに対する想いや、現在取り組んでいること、今後の展望を広くお伝えするために、

2018年の発行より『環境・社会報告書』を『長谷エグループCSR報告書』へと改めて発行します。

本報告書を通じて、長谷エグループの社会課題解決と価値創造についてご理解いただくとともに、

これからの活動にご期待いただければと思います。

編集方針

『長谷エグループCSR報告書2018』は、2017年度の長谷エグループのCSR活動に関して情報開示を行うとともに、ステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図る目的で発行しています。

『長谷エグループCSR報告書2018』では、新しく定めた「CSRビジョン」「CSR方針」やマテリアリティについて理解を深めていただくための「特集1」と、「長谷エテクニカルセンター」の設立に込めた想いと社会的意義、設備のあらしをご紹介する「特集2」を作成しました。また、活動報告は「4つのCSR取り組みテーマ」に準じた章構成をとっています。

対象期間

2017年度(2017年4月～2018年3月)

但し、一部対象期間外の情報も含めています。

対象組織

長谷エコーポレーション、及び会計上の連結子会社63社を対象としています。

発行：2018年10月

前回発行：2017年9月(『環境・社会報告書2017』として発行)

次回予定：2019年10月

ガイドラインへの対応

『長谷エグループCSR報告書2018』は、GRIスタンダードを参照しています。(参照の詳細については、P74に掲載しています) また、環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」を参考にし作成しています。ガイドラインの内容すべてを網羅できてはおりませんが、長谷エグループのCSRの取り組みを中心に掲載しています。

Webサイト：CSR

<http://www.haseko.co.jp/hc/csr/>

目次

4 トップメッセージ

長谷エコーポレーション 代表取締役社長
辻 範明

6 長谷エグループ概要

8 特集1

長谷エグループのCSRが目指すもの

14 特集2

長谷エが創造する住まいと暮らし
～長谷エテクニカルセンター始動

18 住んでいたい空間

■ Highlight：グループ丸で“次世代の街づくり”を展開
～東京都・北区王子5丁目プロジェクト

■ サステナブルな街と暮らしをデザインする

■ 街とともに、住まいで未来を再生する

■ 安全・安心で快適な空間の実現

■ 暮らしを支える、新しい技術の開発

■ より安心・快適な暮らしを支えるサービスの提供

28 働いていたい場所

■ 多様な人々の活躍

■ 労働環境・安全衛生

■ 人材育成・技術継承

■ サプライチェーン

38 大切にしたい風景

■ 環境マネジメントシステム

■ マテリアルフロー

■ 施工：地球温暖化防止の取り組み

■ 施工：資源循環及び廃棄物削減の取り組み

■ 設計：環境配慮の取り組み

■ 研究・技術開発：環境負荷低減を実現する技術

■ 環境活動に対する社会からの評価

■ オフィス：CO₂削減・省エネ活動

■ 環境会計

59 信頼される組織風土

■ コーポレート・ガバナンス

■ コンプライアンス/リスク管理体制

■ 情報セキュリティ・個人情報保護

■ 人権の尊重

■ CSR教育・啓発

■ 社会貢献活動

74 GRIスタンダード対照表